

三四月一日会社及雇員署糾彈演說會開催、平定、處會場、都合、依り
中止ス

標記勞働爭議ノ其ノ後、交渉状況並經過左記ノ通
記

一、交渉状況

三月廿八日従業員側代表小林半三郎外五名ハ會社ヲ
訪問シ社長ニ面會ヲ求メタルカ不在、為社員中林辰
三渡邊精一ニ面會シ別記(一)八項ノ願書ヲ提出シタル
ニ會社ニ於テハ即日重役會議ヲ開催シ三月卅日社員
渡邊精一ヲ代表トシテ前記従業員代表ニ會見シ第一
項ノ賃金ニ割値上ル會社ノ現在ノ經濟狀態ニテハ容
認シ難キニ他ノ七項目ハ全部承認スヘク回答シタル

ニ代表者等ハ大ニ満足シテ退出シ休養中ニ在リ
職場内ニ於テ當日出勤セル百八十二名、後日ハ
リ漸キタルニ全従業員ハ拍手ヲ以テ會社ノ誠意ニ
是レ今後總同盟トノ干係ヲ絶ツヘク決議シ今後爭議
團トハ關係ナキ旨ヲ誓ヒ直チニ散會シテ夫々作業部
署ニ就キタル結果眞ニ爭議ニ關係アルハ本署ニ出入
シ居ル十數名ニ過キス爭議解決ノ狀態ニアリ

二、警察事故

(一)東京鉄工組合主事原虎一指揮ニ依リ爭議團員ハ連
日會社側ノ切斷シ、為就業職工増加レ前記ノ如ク
殆ト全職工ヲ總同盟トノ干係ヲ断テタルヨリ根拠
ノ余リ警備員ト稱シテ會社ノ附近ヲ徘徊シ就業職